

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県千葉市
 本事業の担当部署名 保健福祉局健康福祉部健康支援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	3.1.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業						
個別事業名	千葉市育児支援事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和8年4月1日	~	令和9年3月31日	事業開始年度	平成9年度		
総事業費(A)(円)	3,035,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	3,035,000		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,035,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	552,000	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	552,000	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	2,483,000	0	0	0		3,035,000
	対象経費支出予定額	2,483,000	0	0	0		3,035,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市では、「千葉市子ども・若者基本条例(R7.4.1施行)」を制定するとともに「子どもを産み育てたい、子ども・若者がここで育ち暮らしたいと思ふまち「ちば」の実現」を基本理念とした「千葉市子ども・若者プラン」を策定し、様々な取組を実施している。 近年、経済的理由から結婚に踏み切れない若者が多く、結婚を希望する方々の思いを実現できるよう支援する。 また、千葉市基本計画を達成するための重点的な取組みを示す第2次実施計画において、「子どもを産み育てやすい環境を創る」ことを掲げ取り組んでいる。</p> <p><本個別事業の位置付け> 安心して妊娠期を過ごし前向きな気持ちで出産、育児を行えるように、正しい知識や手技習得、子育てに関する支援・相談先の紹介を目的として妊婦とパートナーを対象とした両親学級の運営を行うもの。</p>						

番号	項目	内容
1	母親&父親学級の開催	<p>栄養士、歯科衛生士、助産師により次のとおり母親&父親学級を開催する。 母子健康手帳交付時に周知、参加を促す。</p> <p>○母親&父親学級(年112回) ・定員:2120組4240人(各回定員12~22組、定員数は千葉市6区でそれぞれ異なる) ・対象:妊婦、パートナー</p> <p>○内容 ・①妊娠から出産②お産③産後の経過 ・夫婦で子育てをすること ・妊娠中の食生活、歯の健康 ・赤ちゃんの特徴、栄養(母乳育児を含む)、歯の健康 ・育児手技(赤ちゃんの抱き方、おむつ交換、沐浴等)の練習</p> <p>○周知・広報について ・妊娠届出時のチラシ配付、市ホームページ</p>
2	土日開催の両親学級の開催	<p>産後のメンタルヘルスや父親の役割について学ぶ機会を増やし、産後うつや父親の育児参加率の向上に繋げるため委託により次のとおり土日開催の両親学級を開催する。妊婦とパートナーのペアで参加を基本としている。 第1回と第2回があり、内容は下記のとおりである。</p> <p>○第1回 計12回 ・定員:480人(20組×12回) ・内容:妊娠の経過と生活②健やかなお産のための準備とお産の経過③産後のことと体の変化、産後の生活④育児の基本的知識(母乳育児を含む)⑤妊娠・出産・子育てにおける父親の役割</p> <p>○第2回(フォローアップ教室として第1回の内容をさらに深める内容) 計9回 ・定員:360人(20組×9回) ・内容:①お産に向けてのこころづくりと体づくり②産後の生活と夫婦で協力して行う子育て③母乳の出るしくみ④育児中の生活と赤ちゃんの特徴</p> <p>○周知・広報について ・妊娠届出時のチラシ配付、市ホームページ</p>
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・父親の育児休暇取得が促進され、父親の育児不安やストレスが増えているため、父親への教育内容やメンタルヘルスについての内容の充実を図る。 ・土日開催の両親学級は、基本教室に対しフォローアップ教室の枠が少なく、令和7年度にフォローアップ教室の回数を増やしたが、未だキャンセル待ちのまま受講できない人がいるため、回数や定員の増加を検討していく。</p>		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		ファミリーサポート・センターの延べ人数		人	7840(R8年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.07(R6年度)	
	婚姻件数		件	3917(R6年度)	
	婚姻率			4(R6年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	母親&父親学級参加者数の増加	人	3,600人(R8年度)	2,790人(R6年度)
	②	土日開催の両親学級の参加数の増加	人	840人(R8年度)	707人(R6年度)
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80%以上(R8年度)	95.0%(R7年度見込)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80%以上(R8年度)	95.4%(R7年度見込)
	④	出産・子育ての不安が軽減した人の割合	%	80%以上(R8年度)	91.7%(R7年度見込)
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					